

平成30年度 認知症初期集中支援チーム拡充にかかる進捗状況等

1 平成30年度の方向性

モデル事業実施医療機関（みどり病院・白根緑ヶ丘病院）に加え、2つの医療機関を拠点として増設し、1拠点2区を担当し、全市展開を図る。エリアごとに柔軟な実施方法を検討する。

2 拠点となる医療機関(委託先)について

以下の条件を考慮し、認知症サポート医、地域包括支援センター、在宅医療・介護連携ステーション等から意見聴取を行い、拠点となる医療機関を選定した。

- 認知症に関する相談や困りごとへのアドバイスや、会議等の開催をコーディネートできる専門職を配置できる。
- 地域包括支援センターでは対応困難な、認知症と精神疾患の鑑別が可能である。
- 医療と介護の連携の推進役を務める認知症サポート医がおり、認知症に関する専門的な診察や検査が行える。
- 認知症の行動・心理症状や身体合併症に対する急性期入院治療を行うことができる、または入院治療が可能な医療機関との連携がとれる。

3 現在の進捗状況

エリア	北・東区	中央・江南区	秋葉・南区	西・西蒲区
拠点医療機関	南浜病院	みどり病院	白根緑ヶ丘病院	佐潟荘
相談窓口 (コーディネーター)	南浜病院 (精神保健福祉士)	中央区:みどり病院 (保健師) 江南区:協議中	白根緑ヶ丘病院 (精神保健福祉士)	佐潟荘 (精神保健福祉士)
チーム	南浜病院に設置 2区を担当 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">決定</div>	みどり病院に設置 中央区を担当 (江南区は協議中) <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">協議中</div>	白根緑ヶ丘病院に設置 2区を担当 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">決定</div>	佐潟荘に設置 佐潟荘以外の医療機関のサポート医、スタッフの協力のもと、エリアの分担を行うか協議中 <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">協議中</div>

4 今後のすすめ方

- チーム員と地域包括支援センターで詳細な運用方法を決定
- チーム体制が整い次第、エリアごとに国のチーム員研修受講（または伝達研修）
- チーム体制および運用の決まった拠点医療機関から事業開始